

## 2007年合同ゼミ 実施要領

実施日・・・12月15日(土) 2年生:10:00～17:00、3年生:14:00～17:00

会場・・・東洋大学白山校舎

2年生 **6316 教室**(渡辺ゼミ対藤井ゼミ)

3年生 **6314 教室**(大森ゼミ対藤井ゼミ)、**6315 教室**(郝ゼミ対藤井ゼミ)

開会式・・・2年生:9:30 **6316 教室**集合、3年生:13:30 **6314 教室**集合

### 3年生「構造改革と格差問題」

#### 1.趣旨

近年、個人間や地域間の格差が拡大する傾向が続いており、小泉内閣が推進した「構造改革」に対する批判が強まっています。格差が拡大し続けているのは、「構造改革」の名の下に「小さな政府」を志向し、市場原理を拡大させた同内閣の責任だということです。小泉内閣と同様、「構造改革」を掲げる安倍内閣の政策方針についても、この点が一大争点となっています。

それでは、再び「政府を大きく」して格差を縮小させるべきなのでしょうか？ ディベートを通じて、この問題を検討してみたいと思います。

#### 2.サブ・テーマ

##### 大森ゼミ 対 藤井ゼミ

A「地域間格差を縮小するために、地方への公共投資を拡大すべきか？」

大森ゼミ [Yes] vs. 藤井ゼミ [No]

B「貧困者を救済するために増税すべきか？」

大森ゼミ [Yes] vs. 藤井ゼミ [No]

##### 郝ゼミ 対 藤井ゼミ

C「地域格差を縮小するために、『ふるさと納税』を実現させるべきか？」

郝ゼミ [Yes] vs. 藤井ゼミ [No]

D「弱者救済のために、消費税を引き上げるべきか？」

郝ゼミ [No] vs. 藤井ゼミ [Yes]



#### 3.ディベートの方法

##### ①タイム・スケジュール

13:30 開会式 **6314 教室**集合

大森ゼミ vs. 藤井ゼミ : 6314 教室

郝ゼミ vs. 藤井ゼミ : 6315 教室

##### ②対戦方法

yes の側の立論 (15分)

作戦タイム(10分)

no の側の尋問(10分)

no の側の立論(15分)  
作戦タイム(10分)  
yes の側の尋問(10分)  
作戦タイム(10分)  
双方の最終弁論(5分×2)  
計 90分

③司会：双方のゼミ 4年生

司会は、対戦前にレジュメおよびジャッジ・ペーパーの配布を指示。それらの配布後、両チームのメンバー全員にそれぞれ氏名・学年をのべさせ、挨拶の後、対戦に入る。対戦後、両チームに礼をさせる。

④ジャッジ：聴講者（対戦していない2チームがジャッジ。ペーパーに記入・集計）

## 2年生「ライバル企業の研究」

### 1.対戦方式

- A：松屋（渡辺ゼミ） vs. 吉野家（藤井ゼミ）
- B：au（渡辺ゼミ） vs. Docomo（藤井ゼミ）
- C：任天堂（渡辺ゼミ） vs. ソニー（藤井ゼミ）
- D：アサヒ（渡辺ゼミ） vs. キリン（藤井ゼミ）

### 2.プレゼンの原則

#### 1.原則

- ①現在の戦略の特徴を、これまでの戦略と比べて明らかにする。
- ②現在の戦略の将来性を述べる。

#### 2.戦略を評価する際のポイント

業界におけるシェア（生産高もしくは販売額・販売量）を基準

### 3.プレゼンの方法

#### ①時間配分

プレゼン	20分×2=40分
作戦タイム	10分
質疑と応答	10分×2=20分
作戦タイム	10分
最終弁論	10分

計 90分

#### ②タイム・スケジュール

**9:30 開会式 6316 教室 (6号館3階)**

C.10:00~11:30      D.11:30~13:00

13:00~14:00 昼休み

A.14:00~15:30      B.15:30~17:00

#### ③ジャッジ

対戦チーム以外の全員がジャッジ・ペーパーに記入・集計

#### ④司会：双方のゼミ 3・4年生

司会は、対戦前にレジュメおよびジャッジ・ペーパーの配布を指示。それらの配布後、両チームのメンバー全員にそれぞれ氏名・学年をのべさせ、挨拶の後、対戦に入る。対戦後、両チームに礼をさせる。